

事業所名		デイサービスセンター ケヤキ				支援プログラム		作成日	令和8	年	2	月	10	日
法人（事業所）理念		利用者が望む生活を送れるよう、必要な福祉サービスを継続して提供し、地域福祉の拠点として、その役割と使命を果たせるよう、安全性と透明性をもった信頼ある施設づくりに努めます。												
支援方針		健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言葉・コミュニケーション、人間関係・社会性といった5領域において将来の日常生活や社会生活を円滑に営めるよう本人の将来や家族の視点に立った支援、最適、最善、最良な支援を提供していきます。												
営業時間			9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無		ありなし			
		支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	到着してから帰宅までの中で基本的な生活スキルの習得、生活習慣を自然に身に付けれるように環境を整えます。個々に応じた配慮を取り入れ個々の能力を最大限活かしていきます。また、個々の発達具合に合わせた健康増進に関する取り組みを実施します。 ※5領域全てで保育士により、専門的支援計画に沿って個別、集団での対応を実施します。												
	運動・感覚	アセスメントから個々にあわせた環境の中で支援を提供していきます。 遊びや集団活動（散歩やレクリエーション）を通しての取り組み、保有する感覚の特性を踏まえた配慮を実施したうえで環境調整等の支援に取り組めます。												
	認知・行動	アセスメントから感覚や認知の偏りを把握、個々に合わせた環境、対応を心がけます。友達や職員との関わりの中で経験を積み重ねてもらい成功体験を活用、スモールステップで段階的に支援していきます。												
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちを伝える事が出来るよう多様なコミュニケーション手段を活用、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援、言葉の習得、障害の特性に応じた読み書き能力の向上の為の支援、受容と表出に関わる取り組み。集団活動や個別支援の中で経験の積み重ねを重視して取り組みます。												
	人間関係 社会性	関係性を広げるために、職員との信頼関係を築き安心して過ごせる環境を整えます。集団の中で何をするのかを明確にする事で前準備と環境設定を実施、アタッチメントの形成、障害や性格など個々に合わせた、集団活動の中で手順やルールを学べるよう、様々な経験を積み重ねながら習得できるよう取り組みます。												
家族支援		様々な家族の悩みを聞き、本人、及び家族に対して情報提供、相談援助。レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援等。							移行支援		保護者との面談、関係機関との連携をもとに次のライフステージを見据えた取り組みの実施。社会資源を活用し地域との交流等。			
地域支援・地域連携		相談支援事業所や学校、他事業所との連携を密にすることで、統一した支援を心がけ、本人が混乱しないよう取り組んでいます。また、情報共有する事で本人が過ごしやすい環境を整えています。							職員の質の向上		研修計画に基づき法人内での研修や外部研修へ参加。また、個々の学びに合わせ動画研修を採用している。			
主な行事等		〇花見会・地域交流会・秋遠足・クリスマス会    〇七夕・ハロウィン・書初め・節分    〇長期休業期間に調理実習、買い物学習等実施しています。												